

道の駅の役割を学ぶ

平成25年度道の駅講演会

「道の駅」講演会が1月23日、役場201会議室で開かれました。

講演会では、道の駅「十文字」を運営している十文字リーディングカンパニー社長の小川健吉さんが「道の駅が地域に果たす役割」と題して講演。「現場主義」がモットーの運営方針や「道の駅を地域の元気の拠点にしたい」という思いなど、地域振興に果たす道の駅の役割について講演しました。



地域振興に果たす役割について講演する小川さん



各団体が活動の状況や課題などを発表し理解を深めました

団体相互の発展を目指し

ひらいずみ女性の集い開催

「第7回ひらいずみ女性の集い」が1月12日、平泉文化遺産センターで開催されました。集いには会員ら約100人が参加。第1部では、町内女性組織8団体の代表者が「各団体の活動成果と今後の課題」をテーマにディスカッションを行い、活動の状況や課題などを発表しました。

また第2部では、陸前高田市地域女性団体協議会長の佐々木美代子さんが「震災と女性・組織」と題して講演しました。

参加者らは、各団体の活動に理解を図りながら、さらなる発展を目指し交流を深めていました。

厄災消除、無病息災を祈願

毛越寺二十日夜祭

1月20日、毛越寺常行講の二十日夜祭が行われ、厄災消除、無病息災、五穀豊じょうなどが祈願されました。二十日夜祭は、一山の僧侶たちが常行堂で続けてきた祈とうが満願するのを祝って行われているもの。今年も厄男など約300人が参加しました。

町内外6カ所の奉納宿から集結した参加者たちは献ぜん行列を組み、駅前から毛越寺常行堂に向けて練り歩きました。境内では、厄男たちによる火たきのぼりや「蘇民袋」の争奪戦などが行われ、ホラ貝や太鼓の音とともに勇ましい掛け声が響きわたっていました。



勇壮な火たきのぼりを披露する厄男たち(写真上)／42歳厄年の有志が姫待滝で身を清めました(写真右下)／駅前を出発する献ぜん行列一行(写真左下)

今年1年の多幸と発展を祈る

平泉町新年交賀会

町、町議会、JAいわて南、商工会が主催する「平泉町新年交賀会」が1月7日、平泉観光レストセンターで開かれました。

会には来賓や各団体の代表者、区長や町民ら約280人が出席。菅原町長と青木町議会議長が主催者を代表してあいさつ、橋本英教衆議院議員らが祝辞を寄せました。

参加者は新年のあいさつを交わしながら1年の多幸を願うと共に、より一層の発展を誓い合いました。



声高らかに乾杯し、新年を祝いました

幸福願いお酒を飲み干す

中尊寺金盃披き

恒例の中尊寺金盃披きが1月8日、中尊寺大広間で行われ、町内外から140人が参加しました。

金盃披きは中尊寺一山の僧侶が、国家安泰などを祈る修正会の結願を祝って、毎年同日に開催されています。

僧侶が大(630ミリ)、中(450ミリ)、小(360ミリ)の金盃になみなみと注いだ酒を参加者は一気に飲み干し、今年1年の幸福と五穀豊じょうを祈りました。



金盃に注がれたお酒を飲み干す参加者



ご家族らからの祝福を受ける泉さん

お祝いの会で100歳を祝う

千葉さんが満100歳を迎える

千葉泉さん(11区)が12月25日、満100歳の誕生日を迎えられました。

この日は泉さんが利用されている一関市内の施設でお祝いの会が開かれ、施設の利用者や職員、ご家族らが長寿を祝いました。

歌を歌うことや踊ることが大好きな泉さんは、町長から「100歳おめでとうございます。これからはまだまだ長生きしてください」と声を掛けられると「ありがとうございます」と笑顔で答えていました。



菅原町長らの点検を受ける交通指導隊員

交通安全の意識高揚を図る

平成26年交通指導隊初点検

町交通指導隊(丸山訓隊長)の平成26年初点検が1月6日、役場玄関前で行われました。

初点検には隊員10人をはじめ、関係者らが出席。隊員が手帳や警笛などを提示し、菅原町長や鈴木有一平泉駐在所長の確認を受けました。

決意表明では、丸山隊長が「交通ルールの順守と交通マナーの徹底を図る」と誓い、交通安全の意識高揚と交通事故のない町づくりに向け、気持ちを新たにしていました。